

# 事業評価シート（平成27年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	農業理解促進事業		
事業担当	産業振興部 農水産課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'02	②〈熟成〉市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる	
	'01	1 市民が身近に感じられ、生活に密着した産業を展開する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 生産農家】		
目的・目標		事業の概要	
生産者と消費者のふれあいの創出と地域経済の活性化が図られるとともに、農業に対する理解と認識が深まっています。		農業理解を深めるため、農業体験、生産者との交流事業、地場産品のPRイベント等を実施します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	地産地消に向けたイベント開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	7	7	7		
活動指標②	指標名	地産地消に向けたイベント開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績					
成果指標①	指標名	地産地消に向けたイベント来場者数(平成26年度から)			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績		42,000	42,000		
成果指標②	指標名	地産地消に向けたイベント来場者数(平成26年度から)			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績		60,600	51,960		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
生産者との交流事業等の開催により、生産者と消費者のふれあいの機会を創出しながら農業への理解を促進するとともに、平塚産農産物の消費促進に関する取組を支援したことで、地産地消の推進が図られました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	地場産品に対する情報提供への市民ニーズがあり、行政と生産者の協働により、体験イベントや即売会等を開催することで、地産地消を進める必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	農業体験等を開催し、生産者と消費者が接する機会をつくとともに、安心安全な地場産農産物をPRしていくことは、地産地消や食農教育に有効であるため、継続して事業実施していきます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	農業への理解や地産地消の促進のために、市民と生産者がふれあう機会を創出します。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	生産者と消費者が接する機会をつくり、地産地消を推進するため、生産者の参画をすすめながら事業の充実を図ります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 生産者と消費者が直接ふれあうイベント等がマンネリ化しないように、新たな形式のイベント等を展開し、さらなる農業理解の促進と地産地消の推進を図る必要があります。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		農業体験、生産者との交流事業、地場産品のブランド化やPR	農業体験、生産者との交流事業、地場産品のブランド化やPR	農業体験、生産者との交流事業、地場産品のブランド化やPR
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	2,668	1,923	2,076
事業費 (A)		2,668	1,923	2,076
執行率 (%)		99.07	93.35	99.90

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成29年度の取組方針</b> 平塚産農産物PRキャラクター「ベジ太」を活用し、各種イベントの開催やPRなどを通し地産地消の推進を図ります。また、多くの来場者が見込まれるイベントに出向いて直売を開催するなど、新たな形式のイベントにも取り組みます。
<b>課長コメント</b> 都市近郊の立地を活かして、生産者と消費者との交流ができるように、イベント開催や地産地消を推進します。